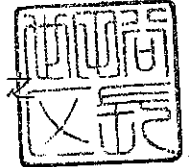




19世道計第18号
平成19年5月10日

国土交通省道路局長 様

世田谷区長
熊本 哲



道路整備の中期的な計画作成に対する意見について（回答）

標記について、平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のありました事項について、下記のとおり回答します。

記

1 都市計画道路の整備の推進について

都市計画道路は、都市を形成する最も基本的な都市基盤であり、交通機能のみでなく、延焼遮断帯や避難路の役割に加え、歩道設置により歩行者空間が確保されるなど、防災性の向上や歩行者の安全確保からも極めて重要な都市施設である。

本区における都市計画道路整備率は42%と低調なため、さらなる整備の推進に向けて、財源の移譲や補助金の適正な配分など、必要な財源を確保することに努め、早期の道路ネットワークの形成に向けて支援をお願いしたい。

2 3環状道路の早期整備について

とりわけ外環道については、広域的な視点から必要な道路であるとともに、本区にとっても環状8号線等幹線道路の渋滞軽減、大気汚染の改善が期待できるため早期整備をお願いしたい。整備にあたっては、野川・国分寺崖線等自然環境への十分な配慮とジャンクション等地上部区間周辺への影響を極力小さくしていただきたい。

また、外環道の東名以南（東名高速～湾岸道路）の都市計画決定を早期に行い、東京区間（世田谷区宇奈根～練馬区大泉町間）の整備に併せて確実に東名以南の整備を進めていただくことを強く要望する。

3. エイトライナーの早期整備について

エイトライナーは、平成12年運輸政策審議会答申第18号において「区部周辺部環状公共交通（仮称）の新設」として「今後整備について検討すべき路線」として位置づけられた。

本路線は、環状八号線を基軸として、地域拠点と相互につなぐことによる新たな都市軸の形成や、大都市圏の交通渋滞と鉄道混雑の緩和を図り、利便性を向上させ、環境への少ない質の高い交通サービスを提供するなど、東京の都市機能の再生・強化に寄与する極めて重要な路線ととらえている。

従って、本路線の整備を緊急の課題ととらえ、整備に関する支援制度の創設や財源の確保に努め、早期整備に向け取り組んでいただきたい。

4 開かずの踏切の早期解消について

本区内の鉄道は、それぞれの路線が、私たちの生活の根幹をなす大動脈であり、公共交通としてはなくてはならないものである。

しかし、いわゆる「開かずの踏切」は、交通渋滞の発生、地域間の分断による生活の不便や街づくりの遅れ、踏切事故の危険性など様々な問題を抱えており、「開かずの踏切」問題は、区をあげて解決すべき大きな課題となっている。

そこで、「開かずの踏切」対策として、連続立体交差事業の推進などにより一日も早く解消されるよう早急な対策を講じていただきたい。

5 道路特定財源の見直しについて

平成18年12月8日の閣議決定により、「道路特定財源の見直しに関する具体策」が示され、その中で、税収の全額を、毎年度の予算において道路整備に充てることを改め、また、毎年度の予算において、道路歳出を上回る税収は一般財源としている。

渋滞解消等の大きな課題を抱える本区にとって、このことは幹線道路等の早期整備の遅滞を招くため、引き続き道路特定財源を堅持し、財源の確保に努められたい。